



緊急行動呼びかけ パレスチナYWCA12月29日

沈黙していないで、ガザの大虐殺を止めるため行動してください。

世界の人々がクリスマスを祝い、新年を迎えようとしているときに、イスラエルは非常に悪意と殺意ある攻撃をガザにしかけました。これは1967年以来一番ひどいもので、約310人を殺しました。その中には21人の子どもと9人の女性が含まれています。さらに負傷した人は1400人に上ります。イスラエル政府は、ずうずうしくも、これはまだ手始めで、今後もっと激しくなると公言しています。

1967年にイスラエルが西岸とガザを占領して以来、パレスチナでは毎日、殺傷、苦痛に満ちた被害、逮捕、投獄、チェックポイントでの検査、家屋の取り壊しなどが続いています。それに対して世界は、この最も醜い残虐行為に目を閉ざし、現代史上のホロコーストとなるにまかせています。イスラエルは協定を破ってガザにロケットを打ち込み、パレスチナからのロケットによって殺された一人のイスラエル人に対する報復という名目でその行為を正当化しています。土曜日以来、イスラエルの攻撃は、ガザの人の命を直接脅かし、薬局、病院、モスク、大学、市民の家、新しい隊の卒業式を行っていた警察署を破壊しています。イスラエルはガザの占領は終わったといいますが、2007年初頭以来、ガザは国境が封鎖され包囲されています。電気がたびたび止められ、数週間連続してガザに通じる道がふさがれ、ガスや食料が入ってこないため、病気や人道被害を引き起こしています。

パレスチナにいる人権団体は、「ガザ包囲のため、医薬品が不足し、何百人もの人の需要に応えられず、このままでは死者が続出する」と抗議しています。イスラエル政府によれば、これは、ガザへの軍事行動のまだほんの手始めだということです。

それゆえ、国際社会が沈黙を守って座視していることは、イスラエルの恥知らずな行動に拍車をかけることになるのです。



私たちは国連が本来の方針に立ち、遂行されないでいる諸決議の実施、なかでもパレスチナ人の本来の権利を認め、イスラエルがパレスチナとアラブ地帯を占領することをやめさせるよう、願います。

パレスチナYWCAは罪の無い市民の死を悼み、その魂の平和を祈ります。

1. 世界中のYWCA、および支援団体が1月8日に今回の虐殺で殺された人々の魂のために祈るキャンドル祈禱会を行ってください。
2. すべてのYWCA、人道的人権団体、国際的NGO、そして国際社会は、自国の政府に働きかけ、イスラエル政府に圧力をかけ、即刻罪の無い市民の殺傷をやめ、ガザ包囲を解くよう求めてください。
3. 世界のYWCAと国際社会は、国連安保理に呼びかけ、緊急理事会を開き、制裁を含む具体的方策を採択し、それによりイスラエルが国際人道法を守るようにしてください。
4. ジュネーブ条約締結国は、その第1条および付属議定書の尊重という義務を遂行し、イスラエルが、人道的法律に従うよう、特に敵意から市民を保護することを最優先課題として行動するよう、最適な手段を取ってください。
5. すべての関係者は、この地域が更なる暴力状態へと発展しないよう、手遅れにならないうちに、イスラエル政治指導者をハーグの国際法廷に集め、戦争犯罪で裁くよう、働いてください。

2008年12月29日

パレスチナYWCA